

お題「酒」(連記) 伊藤基弘選

残暑あり美味しいビールまだ飲める  
乾杯に断酒の友へ目くばせを  
仲直り黙って冷の二合半  
あちこちの地酒並べて旅気分  
表面の張力うまい吟醸酒  
酒たばこ無縁金にも縁がない  
酔ってない足元ふらり目はうつろ  
子沢山スッパリ酒を断った父  
ほんのりで止めておいたら美味い酒  
止まり木のつまみは愚痴と痴話ばなし  
うわばみや六角さんの飲みっぷり  
リキュールのしっとり甘いお菓子好き  
ちよつと一杯ちよつとで済んだ試しなし  
ウブだった三々九度でほろ酔いに  
秀 秋の夜は愚痴を肴にひとり酒  
軸 俺の血を吸ってやぶ蚊も酔っぱらい

純一  
郁子  
正清  
アキラ  
ちさと  
英二  
きよな  
千楽  
広子  
哲子  
ひよこ  
ミチ  
健一  
えいじ  
幸男  
基弘

お題「閉める」 八木哲子選

鍵閉めて気になり二度も確かめる  
誘惑のネオンの灯り窓を閉め  
目を閉じて金木犀の曲がり角  
ゴルフスウィング脇を閉めたら右左  
閉め方に結構出ますお人柄  
嘘くさい派閥閉店自民党  
閉め切った扉の中の頑なさ  
玄関にガスと施錠のチェック表  
しんどい日心の鍵は閉めてます  
助けて欲しいときに閉める銀行  
さみしいな百年老舗店閉める  
閉じた心にそつと寄り添う反抗期  
心の扉しっかり閉めてご用心  
言い訳は聞かずボタンと閉めるドア  
秀 閉店を告げる手書きの文字薄れ  
軸 シャッター街女優の笑顔ボンカレー

ひよこ  
基弘  
正清  
健一  
広子  
アキラ  
きよな  
英二  
広子  
千楽  
純一  
アキラ  
きよな  
郁子  
英二  
哲子

お題「ぎりぎり」(共選) 山神きよな選

ぎりぎりの譲歩でだんまりを決める  
齒ざしりが眠れぬ夜を煽り立て  
イスラエルガザ停戦合意待ったなし  
やっそこさエンジン点火メ切日

広子  
幸男  
アキラ  
ミチ

速達便締め切り際の救いの手  
泣きながら自由研究親子だな  
恥ずかしく医者にいけずに重症化  
ぎりぎりの暮らし結構それなりに  
ぎりぎりで見事な着地金メダル  
終電にやっとなセーフの忘年会  
赤貧に免疫があり生きている  
相続でぎりぎりトーク火花散る  
ひよつとしてまだ間に合うかしら美人の湯  
間に合った友に最後の礼をいう  
秀 一ミリが勝負をきめたライン上  
軸 ぎりぎりまで貴方の気持ち待つつもり

郁子  
ミチ  
正清  
哲子  
健一  
千楽  
正清  
純一  
アキラ  
哲子  
基弘  
きよな

お題「ぎりぎり」(共選) 播本英二選

ぎりぎりで見事な着地金メダル  
締め切りに慌てふためき滑り込む  
駆け込んでラストオーダーしたランチ  
ひよつとしてまだ間に合うかしら美人の湯  
泣きながら自由研究親子だな  
ぎりぎりで生きていた子育ての頃  
着たものの容易に脱げぬ試着室  
間に合った友に最後の礼をいう  
ぎりぎりの譲歩でだんまりを決める  
ぎりぎりと言ってご縁にある余裕  
相続でぎりぎりトーク火花散る  
ぎりぎりまで貴方の気持ち待つつもり  
ぎりぎりの暮らし結構それなりに  
今夜こそそろそろ食べな捨てる羽目  
秀 赤貧に免疫があり生きている  
軸 団塊の世代が覚えてる戦後

健一  
ひよこ  
郁子  
アキラ  
ミチ  
広子  
健一  
哲子  
広子  
ちさと  
純一  
きよな  
哲子  
えいじ  
正清  
英二

自由吟 野々村アキラ選

紛争地避けて長旅ローマ法王  
行司にもソントクします検査役  
神さんが全員集合のときだ  
お釈迦さん十二単衣着てたのか  
拉致なんぞカケラも見えぬ総裁選  
昔の名前たち未来作れるか

千楽

基弘

うっかりと妻の地雷を踏みトホホ  
ゴミ出す日ついでに愚痴も入れておく  
靴の中小さな石の存在感  
早くから予約をしても花はなく  
暗い過去消して人生今が旬  
デザートに別腹騒ぐ食事あと

正清

係累と過去を経っても秋の風  
人間のタンをエンマがレアに焼く  
イエスノー言わずにしばしうす笑い  
アルバムの中に若さが氷漬け  
目がこねる魚眼レンズのセミヌード  
終活にひそひそ声のエンマ様

義雄

ジプシーにならずば銃を持たされる  
プーチンに線香花火贈りたく  
巢立つ子へ母のスマホが纏いつく  
へそ曲げた頑固おやじの背のやつれ  
毛並みゆえ生涯クロで過ごす猫  
滑り落ち辺り窺うミケのひげ

純一

防災具何揃えるか相談中  
立ち飲みの世間話で世相みる  
四面楚歌孤高の知事の心中は  
人間も柔軟入れてまろやかに  
藤井君勝って謙虚はすばらしい  
総裁選元気だけでは困ります

乃り子

こんなにも温かさ知る夫伏し  
元気なら何もいらぬバースデー  
愛と哀背中合わせで握手せず  
手に入らぬ普通であるという宝  
染めたのか染められたのか半世紀  
もう一度お百度を踏む両の足

ひよこ

友に会い愉快爽快おしゃべり日  
風が吹くバラ園の中花吹雪  
体操し今日も元気で笑顔の日  
便利でもスマホにあるよ落とし穴  
喧嘩して声を出さずに捨て台詞  
山登り普段は着ない赤い服

ちさと

おトイレは立つてするなと言ったはず  
面取りはしないせない冷奴  
スキンヘッド引くに引けないうしろ髪  
けりをつけ丸い小石を置いておく  
けんけんの体重計はそのまんま  
毒舌が効を奏して皆元気

ミチ

次はロス年号二度見私古希  
バスの旅おしゃべりつきずまた行こね  
山の上残念白い雲のなか  
アビーロードまねして歩くファンの道  
メダカ鉢アシナガ達が運ぶ水  
この夏はパリの時間で過ごす日々

健一

スマホ忘れ支払いできず鍵開かず  
古稀過ぎて筋肉貯筋底を突き  
法作る人が挙って法破り  
鏡見るしみ取り塗った次の朝  
続けざま歌う上司の予約消し  
夫婦で食い違う馴れ初めの経緯

アキラ

涼しくなつて人出の増えた散歩道  
エアコンを止めて網戸の心地よさ  
えらいこっちゃいそかわさんに米が無い  
三世代同居ストレスてんこ盛り  
ペナントレース大詰め痛い今日の負け  
総裁候補作り笑顔がぎこちない

郁子

露味噌の苦み甘みのさじ加減  
菜の花の黄色は明日へのエール  
炎天の砂丘を海の見えるまで  
お互いに補い合っている記憶  
ごめんなさいあっさり言われ波静か  
一日の無事を感じし聴くバツハ

広子

何度でも領いてやる手を握る  
名月も今年はビール冷奴  
熱風をかきまわしてるサルスベリ  
ソーメンが三日に一度顔を出す  
お帰りなさい冷凍庫から出すグラス  
がっかりに慣れてダメーシ軽くなる

英二

可哀そう犬は真冬と同じなり  
尻尾巻き犬も怯える稲光  
カットされ売られる西瓜無念そう  
かき氷食べながら聞く寺の鐘  
七十の手習いまたも英会話  
老いひとり庭で線香花火する

えいじ

新米はやっぱり旨い二杯目も  
少しでも優しくなれば楽になる  
やることを為すこと全て中途半端  
幸せは自分次第と教えられ  
ありがと思う心は赤子にも  
昔なら誰もが使う肥後守

哲子

白良浜地震台風泣きつ面  
総裁選そろりぞろりと顔ならぶ  
朝だけはチラリと秋の気配あり  
大谷の活躍しだい夜メニュー  
取りあえず熱い悩みはそつと置く  
ラーメンは野菜多めのあつさりで

きよな

秋の気配一ミリもない暑さだけ  
まだまだの暑さ覚悟で秋を待つ  
一日草けなげに咲いて癒される  
息切れる前に休憩深呼吸  
お互いに許す気になり平和な日  
長生きも適当がいいねえ貴方

勉強会 お題「あつさり」 互選 数字は票数

3 人生相談あんさん別れなはれだと アキラ

糠漬けの水ナス猛暑払い除け 郁子

号泣が済んだらロスへまっしぐら 千楽

ややこしい付き合いは嫌シンプルに えいじ

あつさりと認めぬ知事の記憶なし 基弘

4 自分の非認め他人の非は責めぬ アキラ

6 骨董品あつさり値引き偽物か 純一

熟慮よりもあつさりと出た良い言葉 ひよこ

8 ごめんなさいあつさり言われ波静か 郁子

断捨離とあつさり捨ててまた拾う 純一

お題「あつさり」 奥村義雄選

佳 人生相談あんさん別れなはれだと アキラ  
佳 ごめんなさいあつさり言われ波静か 郁子  
佳 断捨離とあつさり捨ててまた拾う 純一  
佳 ややこしい付き合いは嫌シンプルに えいじ  
秀 号泣が済んだらロスへまっしぐら 千楽

今月の推薦十句 原 広子選 全句から選句

節約も命がけですこの暑さ	英二
貯めたとて持つては行けぬあちらへは	健一
半額のシールを狙いスタンバイ	ちさと
モヤシに竹輪料理の腕の見せ所	きよな
残暑あり美味しいビールまだ飲める	純一
目を閉じて金木犀の曲がり角	正清
心ない言葉ささつて貝になる	哲子
今夜こそそろそろ食べな捨てる羽目	えいじ
間に合った友に最後の礼をいう	哲子
着たものの容易に脱げぬ試着室	健一

十月七日(月) 十三時〜 いきいきホール一階  
「よもやま話の会」 \*ご希望の方は参加下さい

十月十日(木) 十四時三十分〜 ふれあい一階  
勉強会 「晴れる」二句 前日までに事前投句  
参加者の互選と義雄さんの選 投句のみも歓迎

十月二十九日(火) いきいきホール二階  
十三時開始 「無駄」互選  
「米」(連記) ミチ 「話す」健一  
「びっくり」(共選) 郁子 幸男 各二句  
自由吟アキラ 四句 「推薦十句」千楽  
十月二十五日(金) 一五時迄にアキラまで投句

喜怒哀楽、日々の想いを五七五で詠んでいます  
入金金無し 会費月百円  
興味のある方はお電話ください

お問合せ

原 広子 (79・0061)  
野々村アキラ (090・6961・1292)